記者発表資料

平成　２９年　１月　２４日
国土交通省郡山国道事務所

一般国道１２１号「会津縦貫北道路」（湯川南IC～会津若松北IC間）開通１年後の整備効果及び交通状況について

国土交通省が事業を進めて参りました、一般国道121号会津縦貫北道路は、湯川南IC～会津若松北IC間（延長3.0km）が平成27年9月6日に開通しました。
この度、開通１年後の整備効果と交通状況について取りまとめたのでお知らせします。

【整備効果】

○喜多方市の**観光入込客数は、**平成２７年で**震災前の水準まで回復**

	平成22年（震災前）	平成27年
観光入込客数（喜多方市）	219万人/年 ➡	220万人/年

○開通以降喜多方市で**新たに企業３件の工場を増設**し、**新規工業団地の造成も決定**

○会津縦貫北道路の延伸で、会津縦貫北道路を利用する救急搬送ルートが拡大され、**迅速かつ安定した救急搬送を支援**

○会津縦貫北道路の周辺道路の**交通事故が**未整備時（国道121号現道利用）に比べ**約６割減少**し**安心・安全な通学路を確保**

	未整備時	開通後
交通事故件数	105件/年 ➡	46件/年

○開通後の所要時間（喜多方市役所～会津若松市役所間）は、未整備時（国道121号現道利用）の所要時間と比べ**平日で８分、休日（観光期）で１５分短縮**

対象時期	未整備時	開通後
平日	４１分 ➡	３３分
休日(観光期:GW)	５１分	３６分

【交通状況】

○開通後の交通量は、開通前と比べ**平日で約３割、休日(観光期)で約４割増加**

対象時期	開通前	開通後
平日	10,400台/日 ➡	13,000台/日
休日(観光期:GW)	10,700台/日	14,700台/日

＜発表記者会：郡山記者クラブ・会津若松市記者クラブ・喜多方日刊新聞記者クラブ＞

【　問　い　合　わ　せ　先　】

国土交通省　東北地方整備局　郡山国道事務所
TEL　０２４－９４６－０３３３
技術副所長　　中村　幹男（内線：２０４）
調 査 課 長　　板垣　浩美（内線：４５１）
福島県　会津若松建設事務所（管理担当）
TEL　０２４２－２９－５４４４（直通）
管 理 課 長　　瓜生　健光

整備効果①　喜多方市の観光入込客数は、震災前の水準まで回復

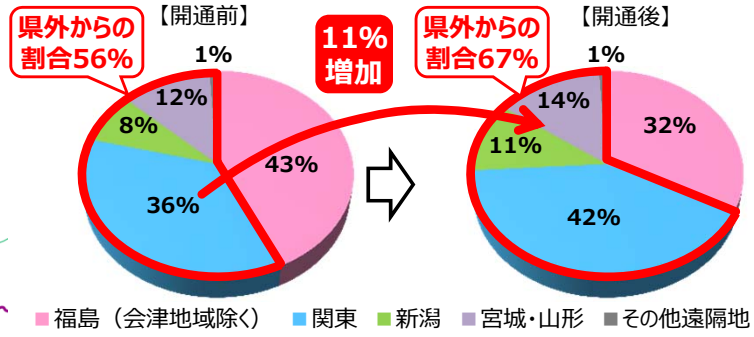
◆会津縦貫北道路(自専道)の開通で時間短縮が図られ喜多方方面へのアクセスが向上し、県外からの来訪者割合が11%増加！
◆喜多方市の観光入込客数は、平成27年で震災前（平成22年）の水準まで回復！

▼会津地域の主要観光地



出典：福島県観光客入込状況

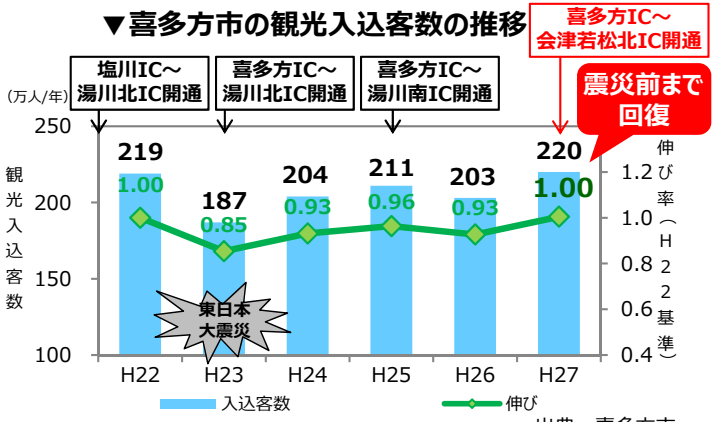
▼主要観光地（喜多方市内）来訪者の地域別内訳



開通前：H26.5～7
開通後：H28.5～7
※このグラフは、湯川南IC～会津若松北ICの開通前後のデータである

出典：「混雑統計(R)」(C)ZENRIN Datacom.co.LTD」

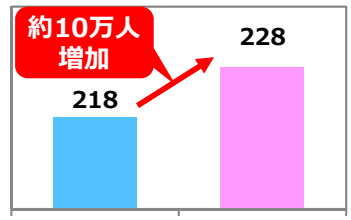
▼喜多方市の観光入込客数の推移



出典：喜多方市

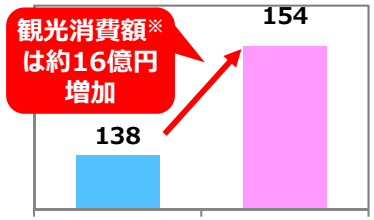
[参考] 開通前後の喜多方市の観光入込客数・観光消費額の推移

▼観光入込客数



開通前：H26.10～H27.9
開通後：H27.10～H28.9

▼観光消費額



※観光消費額＝（観光入込客数）×（1人当たり福島県内日帰り旅行者観光消費額単価（H26））

出典：福島県企画調整部

喜多方ラーメン館　館長
・H27年頃から徐々に利用客が増え、売上げも上がっています。開通効果が影響していると捉えています。（H28.9ﾋｱﾘﾝｸﾞ結果）

喜多方老麺会代表者の声
・会津縦貫北道路が開通し、大内宿方面からのお客さんが喜多方まで足を伸ばしてくれるようになり、ラーメンを食べに来るお客さんは増えて来ています。
・会津若松からのお客さんも顔なじみの方（リピーター）が増えて来ました。（H28.9ﾋｱﾘﾝｸﾞ結果）

喜多方市街地に訪れた観光客の声
・会津縦貫北道路が開通し、観光周遊がスムーズになりました。
・時間に余裕ができたので他の観光地へも足を伸ばせるようになりました。（H28.5ﾋｱﾘﾝｸﾞ結果）

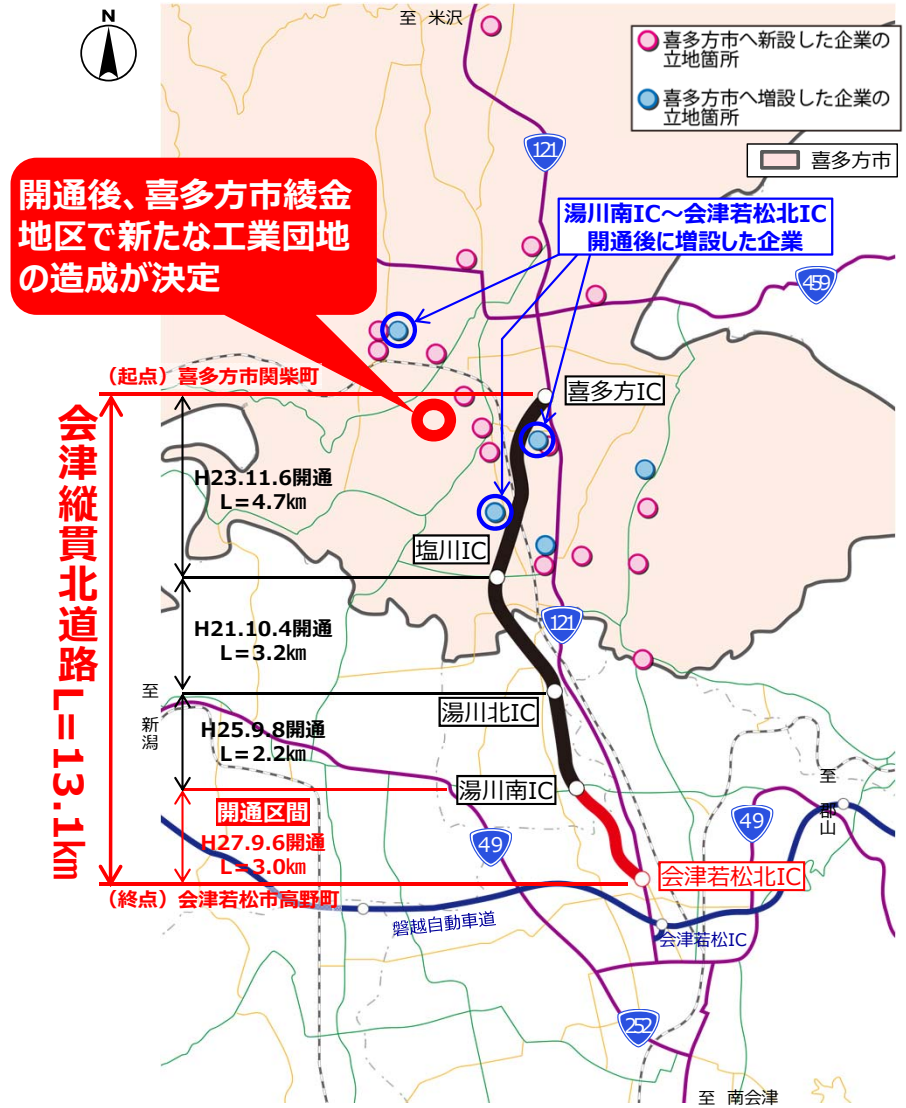
整備効果②　喜多方市へ新たに企業３社が工場を増設、新規工業団地の造成も決定

◆会津縦貫北道路の順次供用に伴い、喜多方市の工場の新設・増設が進み、湯川南IC～会津若松北IC間開通後は**新たに3件の工場増設が決定し、新たな雇用を創出**

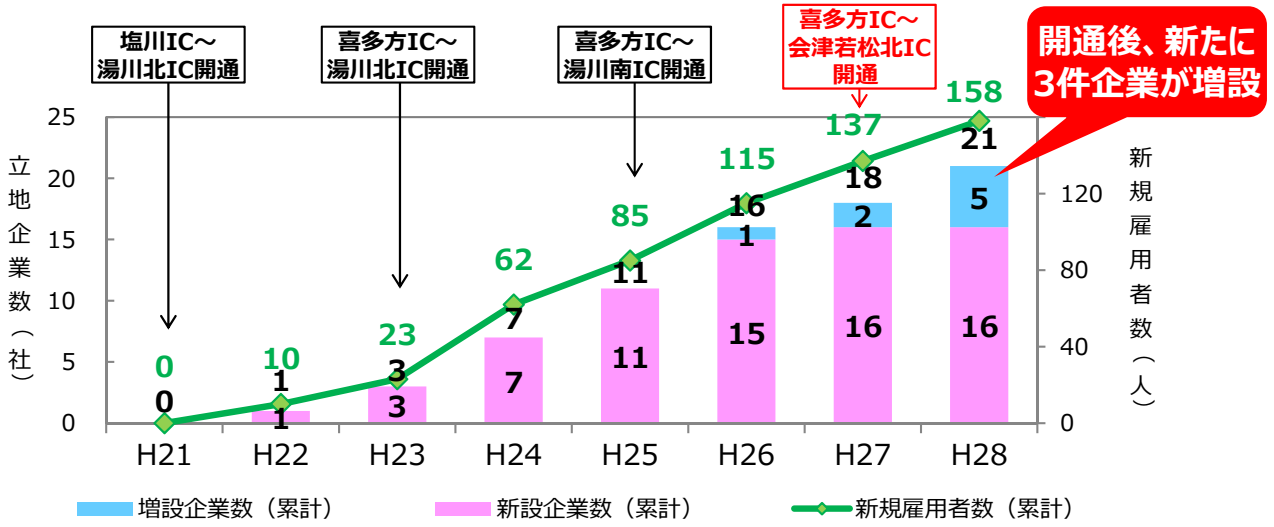
◆喜多方市では会津縦貫北道路の開通後に**市内に新たに大規模な工業団地の造成が決定**し更なる企業誘致に期待

▼喜多方市へ新増設した企業の立地状況（H21～H28）

※H28は9月末時点までに新増設した企業



▼喜多方市へ新増設した企業数・新規雇用者数（累計値）の推移（H21～H28）



※企業件数は年単位（1月～12月）の集計値 H28は9月末時点までの集計値

出典：喜多方市商工課



新喜多方工業団地（綾金地区）の概要

所在地	喜多方市豊川町米室字古開地内
面積	団地面積　約10.2ha 企業用地面積　約7.6ha

平成30年 一部分譲開始予定

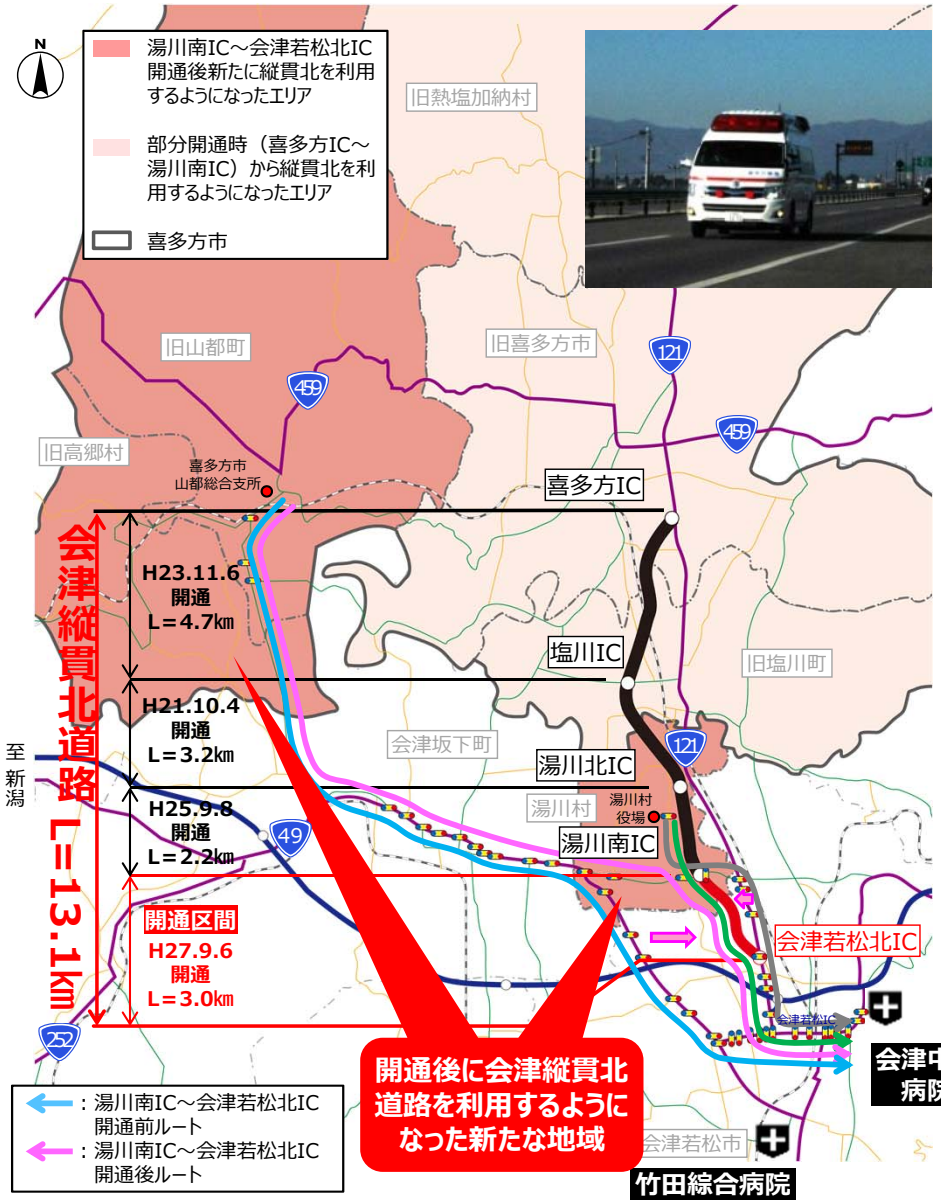


喜多方市では、H28年2月に綾金地区に工業団地の造成を決めた。造成と合わせて喜多方ICと工業団地を結ぶ道路整備の検討も進めており、企業の受入れに向け準備を進めています。（喜多方市）

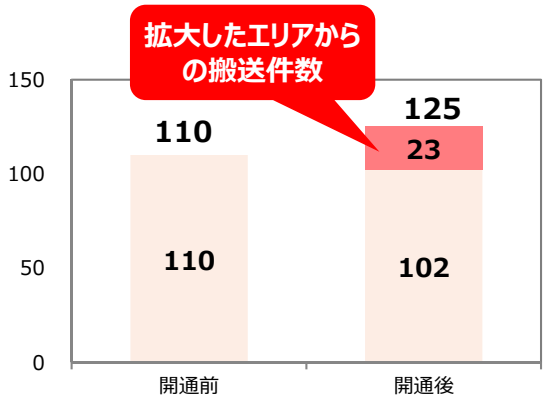
整備効果③　迅速・安定した救急搬送を支援

◆会津縦貫北道路（湯川南IC～会津若松北IC）の開通で、会津縦貫北道路を救急搬送ルートとして利用するエリアが拡大し、迅速かつ安定した救急搬送を支援

▼会津縦貫北道路を救急搬送ルートとして利用するエリア



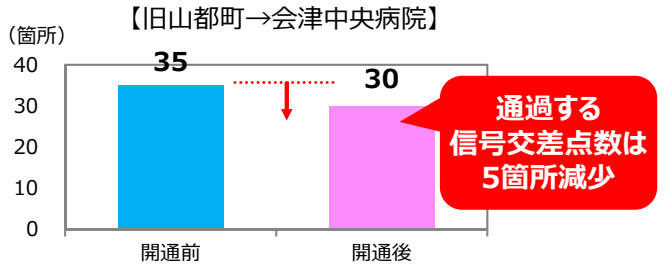
▼会津縦貫北道路を利用する1ヶ月当りの救急搬送件数の推移

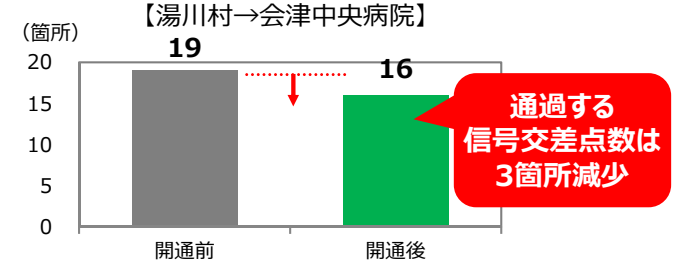


出典：喜多方・会津若松消防本部
開通前：H26.9～H27.8
開通後：H27.9～H28.8

※このグラフは、湯川南IC～会津若松北ICの開通前後のデータである

▼信号交差点数の変化





※このグラフは、湯川南IC～会津若松北ICの開通前後のデータである



《喜多方 消防本部》

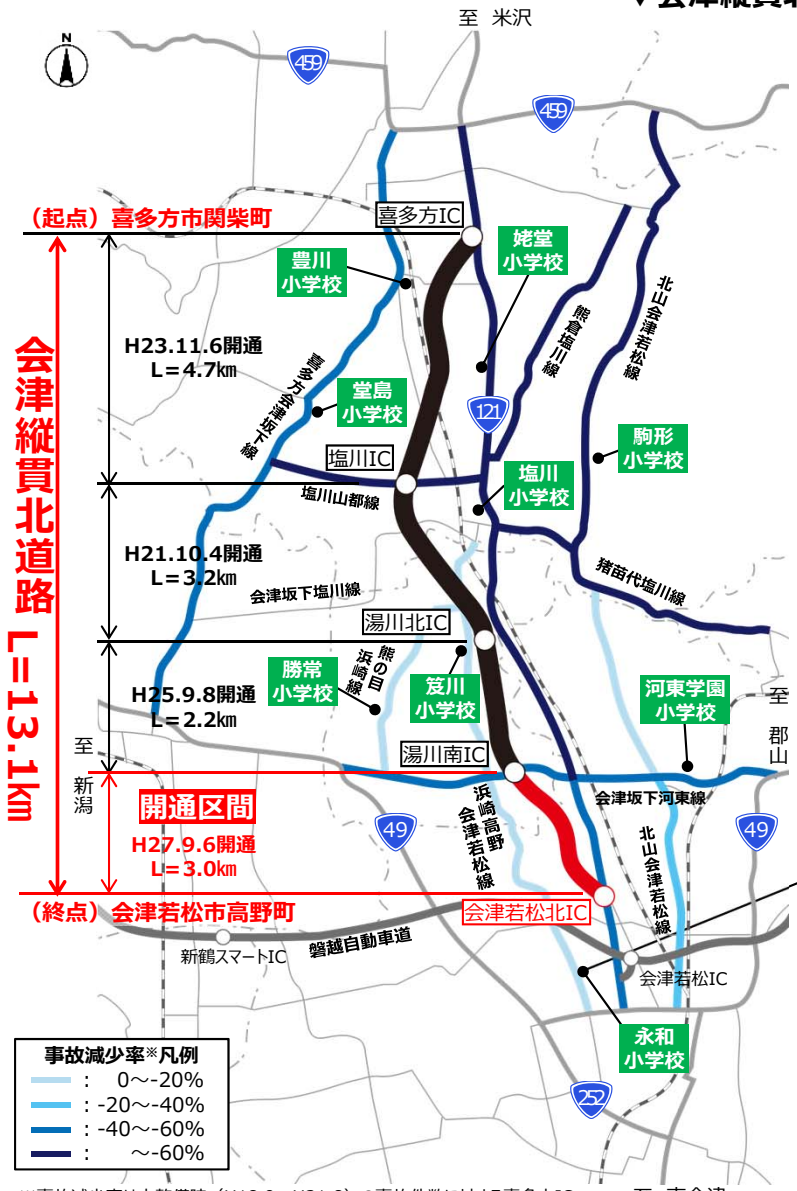
・会津縦貫北道路の開通で、信号交差点を通過することが少なくなり、会津若松市内がさらに近く感じられるようになった。
・会津若松北ＩＣまで伸びた後は、搬送時の患者への負担に配慮し、喜多方市山都地区から会津若松市内病院へのルートを49号線から会津縦貫北道路へ変更し、安定した搬送ができるようになった。

《会津若松 消防本部》

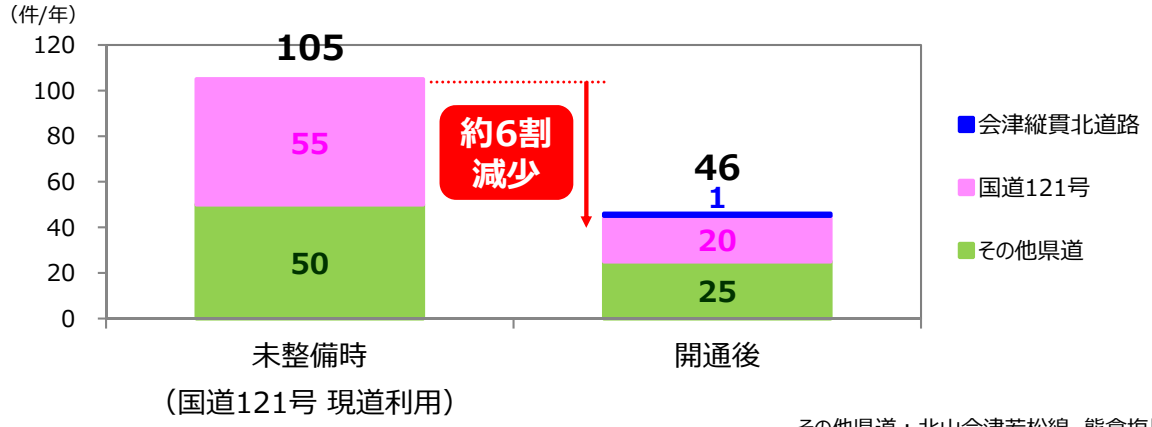
・会津若松北ＩＣまで伸びた後は、傷病者が搬送時の振動で症状が悪化しないように、湯川村から会津若松市内病院へのルートを一般道から会津縦貫北道路へ変更した。
・会津縦貫北道路は対向車や歩行者等の危険要素が少なく、揺れ・加減速も少なく運転に集中できるので交通事故防止に繋がっていると感じています。

整備効果④　交通事故が減少し、安心・安全な通学路を確保

◆会津縦貫北道路の開通で、周辺道路の交通が会津縦貫北道路へ転換し、**交通事故発生件数は約６割減少**
◆周辺道路の交通量が減少したことにより、**安心・安全な通学路を確保**



▼会津縦貫北道路開通前後の年平均交通事故件数（死傷事故件数）の変化



未整備時：H18.9～H21.8
開通後　：H27.9～H28.8

出典：福島県警

※このグラフは、未整備時と喜多方IC～会津若松北IC開通後のデータである

その他県道：北山会津若松線、熊倉塩川線
猪苗代塩川線、喜多方会津坂下線
塩川山都線、会津坂下塩川線
熊の目浜崎線、浜崎高野会津若松線
会津坂下河東線



《会津若松警察署》
・県道の事故が減少した要因は、危険要素の少ない会津縦貫北道路へ交通が転換し、交通量が減少したことが大きい。

交通量の減少で通学路の横断が安全になりました

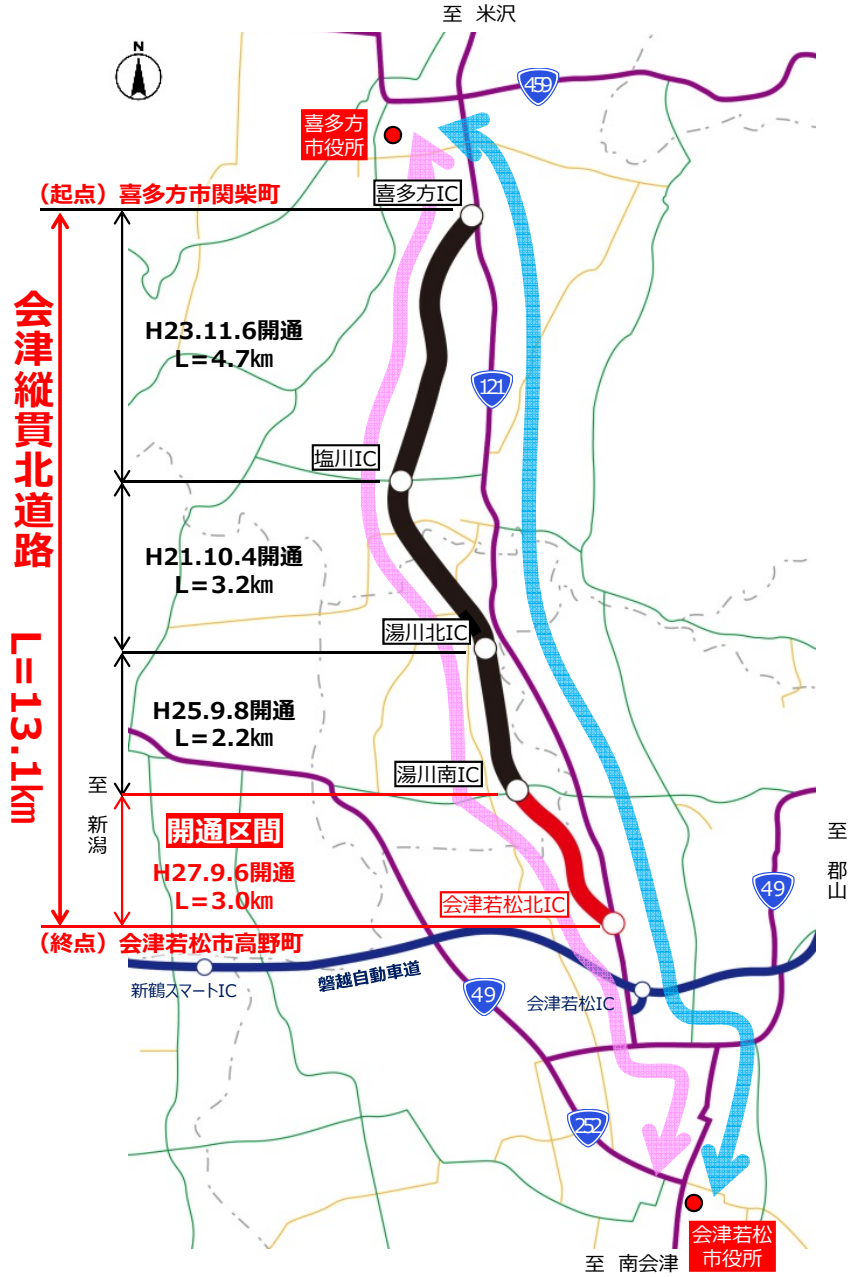


《会津若松市立永和小学校 校長先生》
・バスで通学している児童が小学校前の県道の横断歩道（信号機なし）を利用している。
・下校時に横断歩道を渡る際、以前は交通量が多く横断時には危険と感じていたが、開通後は交通量が減り、安全に横断しやすくなりました。



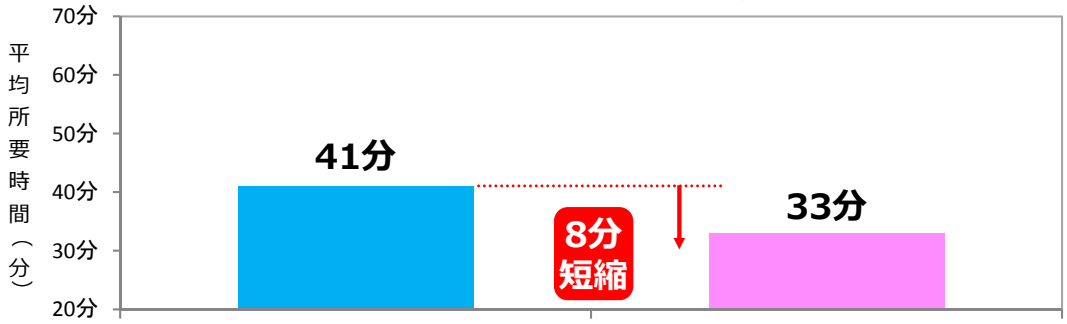
整備効果⑤　喜多方市～会津若松市間の所要時間が短縮

◆会津縦貫北道路（湯川南IC～会津若松北IC間）の開通後、喜多方市～会津若松市間の所要時間は未整備時に比べ平日で8分、休日（観光期：GW）で15分短縮



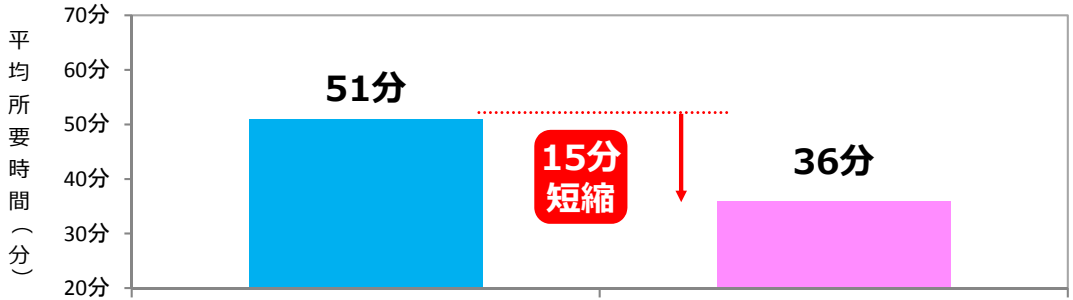
▼喜多方市～会津若松市間の所要時間※の変化

【平日】 通勤時間帯（7時台）



（国道121号 現道利用）

【休日（観光期：GW）】
昼間混雑時時間帯（未整備時：12時台、開通後：15時台）



（国道121号 現道利用）

未整備時ルート（20.4km）
喜多方IC～会津若松北IC間　開通後ルート（21.6km）

※所要時間は喜多方市役所～会津若松市役所間として算出

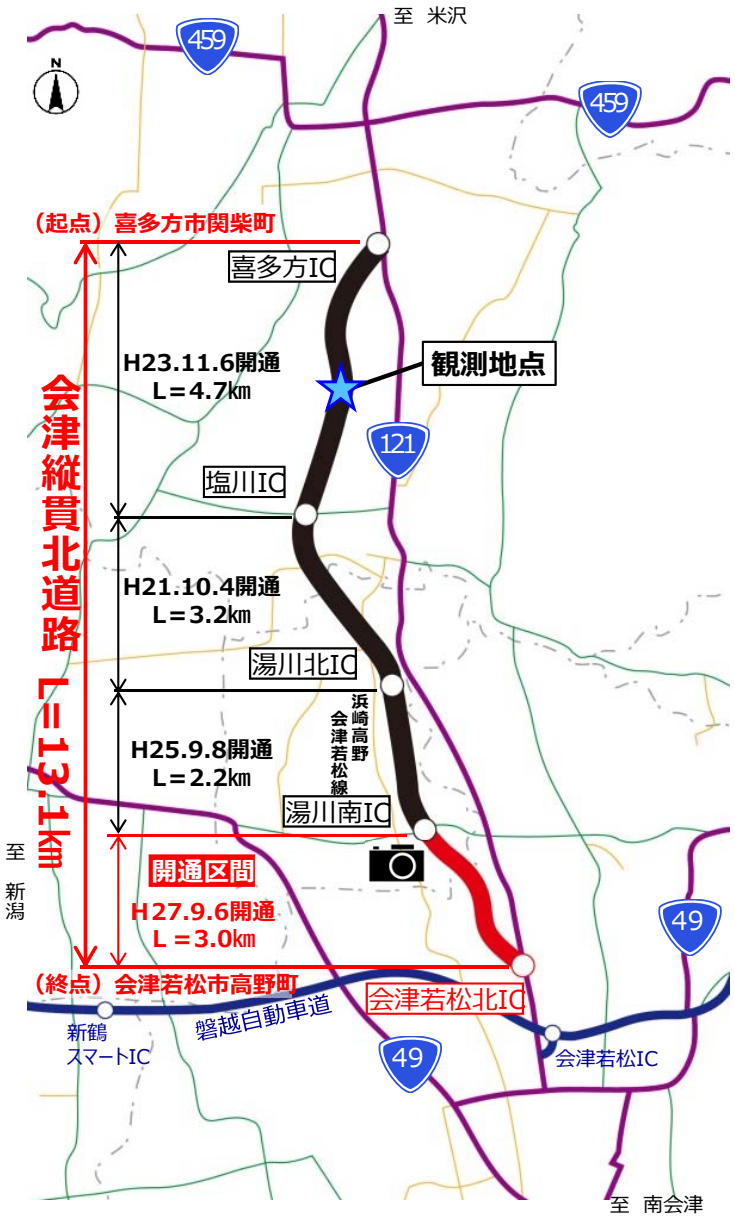
	【平日】	【休日（観光期：GW）】
未整備時	H21.4～9（平日）7時台	連休期間（H21.5.2（土）～5.6（水）の5日間）12時台
開通後	H28.4～9（平日）7時台	連休期間（H28.5.3（火）～5.5（木）の3日間）15時台

※このグラフは、未整備時と喜多方IC～会津若松北IC開通後のデータである

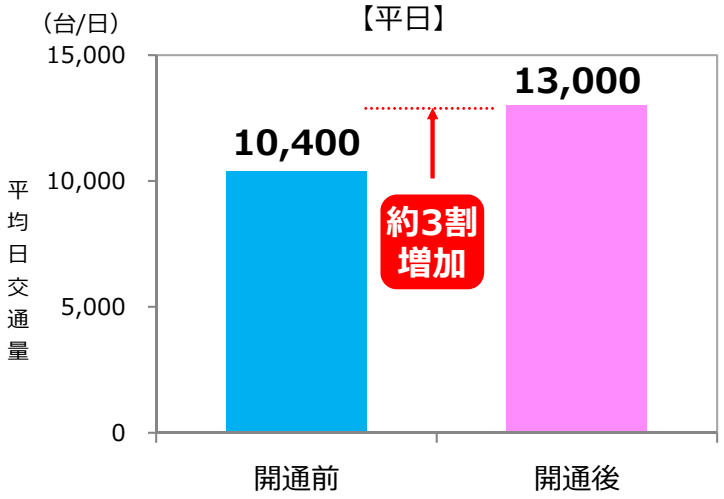
出典：プローブデータ

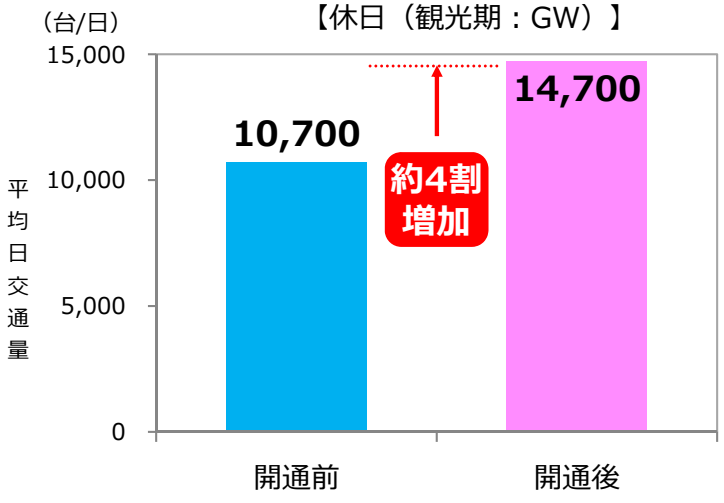
会津縦貫北道路の全線開通前後の交通状況

◆会津縦貫北道路全線開通後の喜多方ＩＣ～塩川ＩＣ間の交通量は、開通前に比べ、平日で約3割、休日（観光期：GW）で約4割増加



▼会津縦貫北道路の交通量の推移





開通後（開通区間）



【平日】
開通前：H26.4～9（平日）
開通後：H28.4～9（平日）

【休日（観光期：GW）】
開通前：連休期間（H26.5.3（土）～5.6（火）の4日間）
開通後：連休期間（H28.5.3（火）～5.5（木）の3日間）

※このグラフは、湯川南IC～会津若松北IC開通前後のデータである

出典：常時観測交通量（福島県）